

▲△▲ 天候に恵まれたツール・ド・モンブラン ▲△▲

(報告) Ino

◎山行期日：2019年7月18日～27日

◎メンバー：Hs、Ino（ツアー参加）



- 7/18 成田→アムステルダム→ジュネーブ→シャモニ
- 7/19 シャモニ滞在
- 7/20 シャモニ発→モッテ小屋（1870m）着 周辺散策
- 7/21 モッテ小屋発→セーニュの科尔（2516m）→エリザベッタ小屋（2195m）着
- 7/22 エリザベッタ小屋→コンバル湿原→シェクルイのコールクールマイユール着
- 7/23 クールマイユール発→ボナッティ小屋着
- 7/24 ボナッティ小屋発→フェレの谷→アルヌーバーエレナ小屋→フェレのコールクールマイユール着
- 7/25 トリアン発→バルムのコールクール・トゥール→シャモニ
- 7/26 シャモニ→ジュネーブ→アムステルダム
- 7/27 成田

一度は行ってみたいと思っていたスイス・フランス・イタリアの3カ国を巡る「ツール・ド・モンブラン」。アルプス最高峰のモンブランとその周りに林立するモンブラン山群。想像していたよりも遙かに圧巻であった。ずしりと迫ってくるものがあつた。聞くと見るのとでは大違いである。天候に恵まれたことがそのことをさらに感動させることにつながつた。期間中、一度も雨や曇天に合わなかつたのである。奇跡としかいえない、ついていた山行であつた。

■7/18～19 成田→シャモニ滞在 エギーユ・デュ・ミディ展望台 3842M（ロープウェイ）→シャモニ針峰群展望ハイキング 2310M→モンタンベール→シャモニ



(シャモニーの町)



(モンブランを臨む)



(シャモニ針峰群展望ハイキング)



(尖峰ドリュール)



(モンタンペールの登山電車)

成田を発ち、アムステルダムを経由して、ジュネーブ空港に着く。そこからチャーターのバスでシャモニーの町に。ここで2泊し、長旅の疲れを癒す。早速町に繰り出しめばしいカフェでチーズとワインを楽しむ。さすが本場の味を堪能した。

夜はぐっすり就寝。翌朝6時起きで朝食を済ませ、徒歩、シャモニ観光に繰り出す。ロープウェイに乗り、エギーユ・デュ・ミディ展望台 3842M へ。モンブランを間近に眺めうっとり。遠方にあのグランドジョラス北壁もかすかに見えて感激。それにしても快晴の中こんな素晴らしいモンブランの姿を見ることができるとは。この後も期待感が深まる。

展望を満喫した後、ロープウェイ中間駅 2310M へ下り、シャモニ針峰群の中腹をモンタンベール 1909M までトレッキング。途中尖峰ドリュエやメール・ド・グラス氷河に感動。その後、モンタンベールから登山鉄道でシャモニの町に。ホテル泊。

■7/20 シャモニー→モッテ小屋泊



(モッテ小屋付近)

今日も快晴。朝食を済ませ、専用バスで今夜の宿泊地モッテ小屋 1870M に向けて出発。途中、人気のスキー場などを通過。それらは雪のない夏も観光地となり、キャンピングカーを持ち込んで休日を楽しむ家族連れがたくさんいた。レジャーの楽しみ方がひと味違うようだ。小屋に着き、小屋付近を散策した。この時期だけ牛を連れてきて放牧をしているようだ。広大な放牧地と高原の爽やかな風に日本とはまた違う感激をもつ。

■7/21 モッテ小屋 1870M→セーニュのコル 2516M→エリザベッタ小屋 2195M



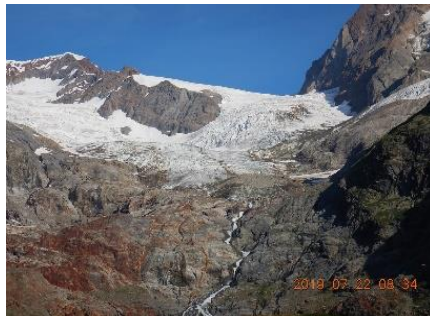
(エリザベッタ小屋までのトレッキング。右：コンバル湿原)



(エリザベッタ小屋付近)

今朝も天気は安定している。今日から本格的なトレッキングの開始。朝食後、早々に準備を終えて出発。目の前の急斜面を登っていく。休み休み登っていくと2時間後、フランスとイタリアの国境のセーニュのコル 2516M に至る。イタリア側に入ると、モンブラン山群の大パノラマが開ける。圧巻である。斜面を300M下ると、エリザベッタ小屋 2195M に至る。小屋泊。

■7/22 エリザベッタ小屋→2420M→シェクルイのコル→（ロープウェイ）→クールマイユール泊



（シェクルイのコルへ）



（エーデルワイスの花）



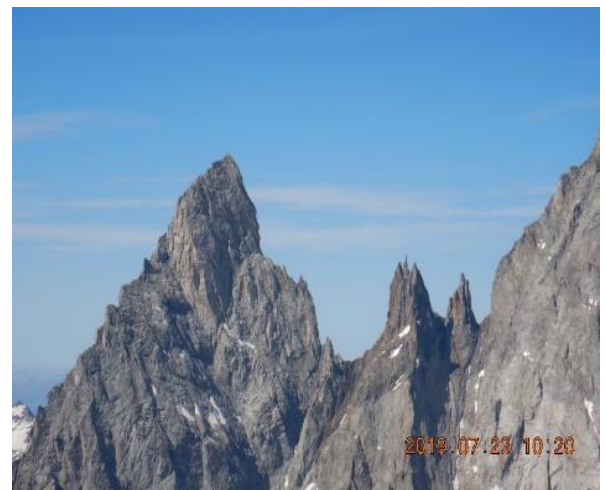
（宿泊ホテル、クールマイユール・パビヨンホテル）

朝食後、今朝も快晴の中、コンバル湿原 2000M に下る。ここは広大なお花畑である。ここから急登を峠 2420M まで登る。モンブランからグランドジョラスまでイタリア側の展望のハイライトが続く。途中、エーデルワイスの花を発見。感動する。急登をシェクルイのコル 1956M まで行く。そこでロープウェイでクールマイユールまで下がる。ホテル泊。

■7/23 エルブロンネル展望台 3462M（ロープウェイ）・クールマイユール→ボナッティ小屋 2022M 泊

（左：間近に見る）
モンブラン）

（右：展望台から
の眺め）



午前中、この日も快晴で展望に期待できるため、クールマイユールのロープウェイに乗りエルブロンネル展望台 3462M まで行く。モンブランの勇姿が間近に。感動を後にしてロープウェイを下る。昼食後、路線バスにてフェレの谷へ。下車後、急登を登ってボナッティ小屋へ。泊。



(ボナッティ小屋)



(小屋付近)

■7/24 ボナッティ小屋→アルヌーバ→フェレ 2537M→トリアン泊

朝、快晴。昨日登ってきたフェレの谷 1700M へ下る。路線バスにてアルヌーバ 1800M へ。そこからトレッキング開始。エレナ小屋 2062M を経由して、その後、急斜面を高度さ 500M 登って、イタリアとスイス国境にある好展望のフェレのホル 2637M へ。



(エレナ小屋より)



(フェレのホル付近)



(草原でポーズをとる Hs 会員)



(緑の谷)



(ホテル風トリアン山小屋)

緑の谷を高度差 800M 下ってフェレ 1700M へ。フェレから専用バスで山群北端のスイスのトリアン 1300M の山小屋へ。

■7/25 トリアン→バルムのコル→ル→(リフト・ゴンドラ)→トゥール→シャモニ泊



(バルムのコル付近)

朝、トリアンを経ち、スイスとフランス国境にある最後の峠となるバルムのコル 2191M に向かう。好展望を満喫する。その後、リフトとゴンドラを乗り継いで、ル・トゥール 1479M へ向かう。ル・トゥールから路線バスでシャモニに戻る。午後シャモニの町で過ごす。



(国境付近)

(了)